

こども版

# 第6次 日之影町長期総合計画

HINOKAGE MASTER PLAN

2025 ▶ 2034

未来への新たな光を灯すまち とも 日之影

# 策定にあたって

## 未来への 新たな光を灯すまち 日之影 を目指して

令和7年3月

日之影町長 佐藤 貢



### 町長インタビュー

**Q** 日之影町のいいところを教えてください。

**A** 日之影町の誇りは、美しい自然と「日本の昔ながらの風景」が今も残っていることです。山や川が作り出す四季の景色はとてもきれいで、自然がたくさんある宝物のような町です。そして、町の人たちは「優しさ」と「助け合いの心」を持っていて、災害の時などにはみんなで力を合わせて助け合います。この町で暮らせることは本当にうれしいことで、この自然と町民の温かさを次の世代にも伝えていきたいと思っています。

**Q** これからの10年で力をいれていきたいことや想いはありますか。

**A** 一番大切なのは、人材を育てることと、町を支える人を増やすことです。これから人口が減っていく中で、より長い目を見て、将来に町をつないでいける仕組みを作ることが必要だと考えています。そのために、デジタル技術をうまく使ったり、役場の人たちの力を高めたり、外から新しい仲間を迎えたりすることに力を入れていきます。これらを組み合わせて、日之影町がこれからも発展し続けていける土台を作りたいと思っています。

**Q** これからの10年に向けた取組のスタートにあたって、町民へメッセージ

**A** 日之影町が今こうしてあるのは、昔、この町で田んぼや畑を作り、こどもたちを育て、この土地を守ってきた先輩たちのおかげです。今を生きる私たちは、その努力を受け継いで、今の時代に合った町づくりを進めていく責任があります。この計画は、10年後の未来を考えて作られたもので、町のみみんなで協力して作り上げたものです。「日之影は本当にいい町だ」と思えるように、これからも力を合わせて、次の世代にすばらしい町をつないでいきたいと思っています。

# 総合計画ってなんだろう？

総合計画とは、日之影町のまちづくりをこれからの10年間でどう進めていくかを定める、町で一番大切な計画のことです。この計画では、町がやるべきことを総合的に考え、他の様々な分野の計画や具体的な取組を進める上での土台となるものです。

計画では、町のみんながまちづくりに興味を持ち、町民と行政(町役場)が知恵や力を合わせて協力しながら、より良い町を作っていくことを目指しています。そのために、この計画では、町の将来像や取組の方向を決めています。

町民と行政がお互いの役割を理解し、協力しながら新しい町づくりと人づくりが進められるように、「第6次日之影町長期総合計画」という長い期間(10年間)の計画を作りました。

## 総合計画の3つの役割

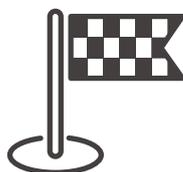
町をしっかりと  
運営するための

道しるべ



みんなでまちづくりを  
進めるための

目標



まちづくりの進み具合  
を確かめるための

ものさし



## 総合計画のつくり



# 自分たちのまちのこと、知っていますか？



## 独自の景観を持ち、自然と共生するまち

傾山などの美しい山々や深いV字谷の溪谷が広がる自然豊かなまちです。町全体には、昔から人々の暮らしとともに育まれてきた美しい農村の風景がたくさん残っています。

また、日之影川周辺には大きな岩が点在し、ボルダリングが楽しめる場所として、多くの人に親しまれています。



## 観光や産業に活かす資源が豊富なまち

日之影町は、ヤマメ釣りやアユ釣りで有名な川やユズやクリなど質の高い特産品があり、自然の恵みが豊かなまちです。また、「森林セラピー基地」として、森の中で癒しを体験できる取組を行っており、多くの人々が訪れています。



さらに、高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産に、祖母・傾・大崩山系がユネスコエコパークに登録されるなど、自然を活かした観光資源と美しい景観が多くの魅力を生み出しています。

## 独自の文化をもつまち

日之影町は、英国館や七折鍾乳洞などの国登録文化財をはじめ、大人歌舞伎や深角団七踊りなど、伝統的な文化財が豊富にあります。また、名工による竹細工や繊細な技術が必要なわら細工など、独自の技術と伝統を守りながら、日常生活文化を魅力的なものにしています。



# アンケート調査によるみなさんの意見

この総合計画をつくるにあたり、昨年アンケート調査を実施しました。これは、みなさんからの町への意見です。

日之影町のことが好きですか

98.0%

「とても好き」  
「どちらかといえば好き」の合計

日之影町は住みやすいと思いますか

89.6%

「住みやすい」  
「どちらかといえば住みやすい」の合計

あなたが住んでいる「まち(近所)」の良いところ(上から3位まで)

- 「山や川などの自然がたくさんあるところ」.....86.1%
- 「住んでいる人が親切なところ」.....42.4%
- 「交通事故や犯罪などが少ないところ」.....27.8%

あなたが住んでいる「まち(近所)」の不満なところ(上から3位まで)

- 「お店が少ないところ」.....66.7%
- 「スポーツ施設や公園などが少ないところ」.....44.4%
- 「不満なところはない」.....27.1%

日之影町がどんな「まち」になっていたら良いと思いますか(上から3位まで)

- 「みんなが安全で、安心して暮らせるまち」.....26.4%
- 「山や川などの自然が豊かで美しい景色のまち」.....25.0%
- 「子育て支援が充実しているまち」.....22.9%

# 総合計画がめざす将来像<sup>しょうらいぞう</sup>

日之影町では、

## 未来への新たな光を灯すまち<sup>とも</sup> 日之影

をまちづくりの将来像として決めました。<sup>しょうらいぞう</sup>

この計画では、第5次の計画で大切にしていた「地域や人とのつながり」を引き継ぎながら、人口減少や社会の変化に柔軟に対応していくまちづくりを進めていきます。

日之影という名は、昔の神話に由来しており、三毛入野命\*が「なんと有難い日の影か」と言ったことからつけられたと言われています。日之影は「日の光」を意味しています。

社会が変わり続ける中でも、町の人々と行政が力を合わせてまちづくりを進め、希望の光を町に差し込ませて、みんなが未来に向けて明るい光を灯し続けることを目指します。

\* いろいろな読み方がありますが、「日本書紀」では「みけいりののみこと」と読まれています。

## 10年後の日之影町は・・・？

日之影町の人口は、今後どんどん減っていくと予測されています。令和2年の人口は3,635人、令和6年の人口は3,196人と減少していますが、魅力ある住みたいまちにすることは、人口の減少を食い止めることにつながります。そのため、次の計画を見直す10年後の令和16年までの人口を「約2,600人」に維持することを新たな目標としました。



# これからのまちが取り組んでいくこと

日之影町をより良いまちにし、「未来への新たな光を灯すまち 日之影」にしていくために、6つの目標にわけ取組を進めていきます。

## 基本目標

### 1 人々の未来を育てるまち

#### 基本目標1で目指していくこと

ふるさと日之影への愛着と誇りを育て、地域全体でこどもの成長を支えながら、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

また、すべての世代が学びやスポーツ、文化・芸術を楽しむ機会を持ち、成長と豊かさを実感できる環境を整えます。

さらに、質の高い教育とデジタル技術の活用を進め、人材を育てながら、文化や歴史を守り、活力あふれる日之影を目指します。

## 基本目標

### 2 心身ともに健やかなまち

#### 基本目標2で目指していくこと

子どもから高齢者まで、障がいの有無に関係なく、すべての人が心身ともに健康で生きがいを感じながら、自分らしく安心して暮らせる地域を目指します。

地域の人々とさまざまな団体が力を合わせ、支援の仕組みを整え、誰一人取り残さず、世代や分野を超えたつながりを育て、元気で長く暮らせるまちづくりに取り組みます。

## 基本目標

### 3 安全・安心に暮らせるまち

#### 基本目標3で目指していくこと

町民や観光客が便利で快適に移動できる交通の仕組みを整備し、住まいや水道など生活する上で必要なものを計画的に整備します。

さらに、災害に強い地域づくりを進め、交通安全や防犯対策を徹底して、誰もが安心して暮らせる社会を実現します。

また、空き家対策や質の良い住宅環境を整備することで、幅広い世代の定住・移住につなげ、子育て世帯を支援するまちづくりを進めます。

## 基本目標

# 4 産業がつなぐ活気のあるまち

## 基本目標4で目指していくこと

町の主な産業である農業や林業を強化し、持続可能な農林業を進めるとともに、地元じぞくかのうの企業の活躍きぎょう かつやくをサポートし、デジタル技術を活用したり、新しい会社を誘致ゆうちしたりして、地域の経済ちいき けいぎを元気にすることを目指します。

さらに、地域の特産物や自然を活かした観光の形を作り、伝統産業でんとうを守りつつ新しい方法で進化させることで、日之影ならではの魅力的で持続可能な産業と地域づくりに取り組めます。

## 基本目標

# 5 自然を守り育むまち

## 基本目標5で目指していくこと

自然と共に生きることを大切にし、資源しげんを大事に使いながら、次の世代ゆたに豊かな環境を引き継ぎます。

町民、事業者、行政が協力して生活環境ぎょうせいを改善かいぜんし、ゼロカーボンシティ\*の実現を目指して、持続可能な社会じぞくかのうを築きずきます。

さらに、過疎・高齢化に伴う地域かその活性化ともなにつなげていくため、町民全員が主体的に集落づくりに参加する地域社会ちいきを作り上げます。

## 基本目標

# 6 協働の輪が広がるまち

## 基本目標6で目指していくこと

こどもから高齢者までが自分の意見を出し、みんなで協力してまちづくりを進め、地域ちいきのつながりやふるさとへの誇りほこを深めながら、魅力的なコミュニティを作り上げます。

また、性別や立場に関係なく、すべての人が尊重され、平等に参加できる社会をつくり、差別のない、平和で豊かな地域社会ゆた ちいきを実現します。

さらに、町の資源しげんを無駄なく活用し、デジタル技術を活用して効率的で質の高い行政サービスむだを提供し、町民がもっと便利に暮らせるようにするとともに、デジタル技術を活用する力を高めていきます。

\* ゼロカーボンシティ: 2050年までに二酸化炭素の排出量はいしゅつりょうを実質ゼロにすることを旨とする自治体のこと。